

宮崎空港

【実施主体：個社】

宮崎空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 賃上げを含む処遇改善に不可欠な受託料の引き上げ	外航受託料の引き上げ	本社にて、外航受託料の引き上げ交渉を実施。	
	総代理店への委託料の見直し	本社にて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料の見直し検討に着手。	
	委託先との契約金額の見直し	処遇改善含む賃上げ等、委託先社員の還元を前提として、委託先とのFY23契約金額に値上げを反映し実施済み。	【委託費改定率】 グループ内各社：平均+3.9%（FY22対比） グループ外委託先各社：平均+6.2%（FY22対比）
	検査会社への委託料の見直し	本社にて、R5年度に引き続きR6年度契約料金の引き上げを実施。	
【短期】 人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化（キャンセル料の設定 等）	外航受託契約条件の見直し	本社にて、最低保証条項の導入検討に着手。	
	検査会社への委託契約条件の設定	検査会社への委託契約に時間保証を継続して設定。	
	委託先の人材確保を下支えするための契約条項追加	最低保証料金の設定や品質連動制度等、委託先の経営の下支えやモチベーション向上に繋げられるような契約条項について、順次、追加設定を進めている。	
	受託料金の時間単価の値上げ交渉	R6.4から受託料金の時間単価が引き上げられた。	
【短期】 職場環境改善に向けた取組の推進	職場環境課題の定期的なヒアリング	本社にて、全国空港所長による定例会議等を通じ毎月職場環境課題の集約を実施。対応を検討中。	
	女性控室の環境改善	壁紙の張替え	
	空港事務所の労働環境改善	事務所の定期的な清掃（月、木）	

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 職場環境改善に向けた取組の推進	最低賃金の上昇を含めた値上げ交渉	地上作業監視業務の時間単価の引き上げを交渉を行い、R6.4から時間単価の引き上げが確定した。	
【短期】 職員負担の集中を回避するための正確な現状把握	生産量ならびに生産対応状況の把握	本社にて、総代理店の生産対応状況を毎月把握。	
	職員数や労働時間の定点的な情報収集	職員の負担を定量的に把握し改善に繋げていくため、配員バランスや採用状況、労働時間の定点的な情報収集を実施。	
	残業時間の均等化	一部の社員に残業時間が集中しないようにシフト作成を実施	
	保安検定資格者及びモニター資格者の配置	保安検定資格者及びモニター資格者の把握と育成	
【短期】 適切な業務量調整による高負荷の抑制	正社員領域、派遣領域の見直し	復便、増便に伴う社員負担の軽減のため、採用を強化するとともに、正社員領域の見直しを実施。一部業務については、アルバイト・派遣社員等も活用し業務量（社員負担）を調整。	
	派遣社員の活用	業務内容を限定した派遣社員を活用	社員の負担軽減、並びに残業時間軽減にもつながっている。
	グラハン資格者増員	他部署の職員に対して、グラハン業務の教育を実施	資格者を増員した事により、グラハンの残業時間分散することが出来た。
	人員不足解消のための雇用の多様化	契約社員や短時間労働社員の雇用	保安検査：契約社員1名、パート1名 地上作業監視員：契約社員2名
	外航側からの応援要員派遣	本社にて外航と調整し、不足人員を外航側からの応援要員で暫定的に充足。	
【短期】 採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）等）	採用情報の広範囲での広報活動	自社グループHPの採用情報に地区総代理店の採用情報（職種別）を掲載し無償で広い範囲で採用広報をサポート	
	自衛隊員に対する企業説明会実施	周辺基地の隊員を招いて企業説明見学会を実施	周辺基地＝新田原基地や築城基地
	高卒求人	宮崎市内の7つの高等学校に求人票を配布	

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）等）	自社グループ空港業務採用情報の特設サイトを公開	空港業務の幅広さや魅力を発信し、グループ各社への応募者増や委託先各社の採用機会に繋げるため、空港業務の採用情報に特化した特設サイトを公開。	https://www.job-jal.com/airport-recruitment/
	宮崎空港合同企業説明会参加	宮崎空港合同企業説明会に参加	採用実績に繋がった。今後も企業として参加を予定している。
	中途採用者の募集		採用実績：8月2名、9月1名、2月2名、3月1名
	雇用の多様化を図る	宮崎空港全体での採用合同説明会の実施	正社員採用あり
【短期】 教育期間の短縮に向けた工夫（実践技術に特化した訓練等）	国際線再開に向けた教育	国際線のみを実施する検査の理解と教育（AIT,液体物の量的制限等）	
【短期】 需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入	空港間の応援派遣	需要回復に対応するため、空港単体でのリソースで対応が難しい場合には、他空港からの応援者を派遣することでリソース不足を解消。旅客スタッフを他空港に派遣中。	
	社内応援者の確保（資格者、経験者）	多客期や国際線再開に際し、他部署からの応援者を行っていく	
【中期】 長期に誇りを持って勤められるキャリアパスの整備	自律的なキャリア構築に向けた成長・学びの場の提供	・公募による社内外異動の活性化。 ・グループ内外へ出向・派遣の拡大。	
【中期】 ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進			
【中期】 特定技能制度の積極的な活用			

【実施主体：空港会社等】

宮崎空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 空港内の労働環境の改善			
【短期】 空港の知名度を生かした採用活動	空港内事業者（7社）による、採用合同説明会の開催	宮崎県からの補助金をうけ、CM等の広報活動を実施	R6年度内定者11名のうち、5名が採用合同説明会 参加者
【短期】 マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修			
【短期】 空港WGの活用推進	空港連絡会、エアライン協議会の定期開催	各社の抱える問題等を共有し、改善を図る等の活動 (例) 保安検査場の混雑緩和対策について、空港ビルを含む関係者が連携して利用者の誘導を行った。	多客期の混雑が緩和されるとともに、従業員のストレス軽減にも寄与した。
【中期】 GSE車両の共用化・共有化の推進			
【中期】 男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進（「旅客は女性」等のイメージの払拭、更衣室等の施設整備等）			

【実施主体：地方自治体】

宮崎空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーション強化（人員体制等の正確な現状把握等）</p>	<p>グラハン会社や検査会社を含む空港関係者との、国際線再開に向けた意見交換会</p>		<p>国際線再開に向けた取組の現状と課題を共有することができ、その結果ソウル線の運航を再開させることができた（令和5年9月27日）</p>
<p>【短期】 空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施</p>			
<p>【短期】 空港業務支援も誘致支援の一部と位置付けた上での関係部局（観光、産業振興 等）と連携した支援の実施</p>			
<p>【短期】 空港WGの活用推進</p>			
<p>【中期】 地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討</p>			
<p>【中期】 特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備</p>			

【実施主体：国】

宮崎空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 各地の空港におけるベストプラクティスの横展開（事例収集・整理 等）</p>	<p>各地の空港におけるベストプラクティスの横展開</p>	<p>各団体が、空港業務を持続可能なものにしていくための取組を検討・実施する際の参考とするため、HPの公表を宮崎県、空港ビル、関係事業者へ展開。</p>	<p>https://www.mlit.go.jp/koku/koku_fr5_000058.html</p>
<p>【短期】 地域の意欲的な取組への積極的な協力（空港説明会への参画等）</p>	<p>空港内事業者（7社）による採用合同説明会の協力</p>	<p>宮崎空港の安全・安心に携わるにグランドハンドリング、ビルマネジメント等の様々な事業者がブースを出展し、企業の紹介や採用に向けた説明会において、参加に訪れる者用に駐車場用地の提供を計画した。</p>	
<p>【短期】 生産性向上・業務効率化の実現に向けた取組支援（先進機器の整備補助 等）</p>	<p>地方空港等受入環境整備事業費補助金（業務効率化第3次）</p>	<p>補助金の対象となる空港内事業者に対し、航空・空港関係者が実施する業務効率化に資する環境整備事業に伴う先進機器等の導入に係る費用補助に関する申請について、上申までの工程を含め丁寧に周知した。</p>	
<p>【短期】 各主体による取組の重要性の発信</p>	<p>ありがとうポスターの普及</p>	<p>空港業務に従事する方が『この仕事に意味がある』と実感できるよう、航空局が作成したポスターを掲示した。</p>	
<p>【短期】 各主体による取組の重要性の発信</p>	<p>宮崎空港連絡会を通じた空港の円滑な運営</p>	<p>各社の抱える問題等を共有し、空港事務所において対応できることへ取り組む。</p>	
<p>【短期】 空港WGの活用推進</p>	<p>空港WGの活用推進</p>	<p>関係各社が抱える課題の共有及び対策検討の空港WGの活用について、認識を一致。</p>	
<p>【中期】 空港DXの導入促進に向けた実証実験</p>	<p>他空港の導入事例等の横展開</p>	<p>空港WGにおいて航空局HPに掲載されているベストプラクティス等の他空港事例について横展開を行った。</p>	

<p>【中期】 更なる支援措置等の検討（人材確保・育成、業務効率化、GX/DX等）</p>	<p>地方空港等受入環境整備事業費補助金（令和5年度補正予算・空港業務体制強化支援事業）の募集・周知</p>	<p>補助金の対象となる空港内事業者に対し、急速なインバウンド需要に国内各地で対応するとともに、空港機能が持続可能な形で維持・発展できるよう、空港業務の体制強化を図ることを目的とした経費の一部の補助の応募について、上申までの工程を含め丁寧に周知した。</p>	
---	--	---	--